

報告書抄録

ふりがな	みなみひよしたかつつみいせき・かみとくいやしきいせき							
書名	南日吉高堤遺跡・上徳居屋敷遺跡							
副書名	－平成27年度 宅地造成工事に伴う発掘調査報告書－ －平成27年度 農業用道路(上徳祐慶寺線)設置工事に伴う発掘調査報告書－							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 147 集							
編著者名	小野隼弥							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0027 今治市南大門町二丁目5番地1 電話 0898-32-5200(代)							
発行年月日	西暦2019年3月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
みなみひよしたかつつみいせき 南日吉高堤遺跡	愛媛県今治市 南日吉町一丁目 甲71番1	38202		34° 03' 35"	132° 59' 45"	20150416 ～ 20150430	46m ²	記録保存 (分譲宅地)
かみとくいやしきいせき 上徳居屋敷遺跡	愛媛県今治市 上徳甲319番2 甲320	38202		34° 02' 01"	133° 00' 55"	20151104 ～ 20151221	152m ²	記録保存 (農業道路)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
南日吉高堤遺跡	集落跡	中世	掘立柱建物1 井戸1 柱穴・ピット52		土師質土器 須恵器、瓦器 貿易陶磁器、鉄器			
上徳居屋敷遺跡	集落跡 墓	弥生時代 中近世	自然流路1 井戸1、桶棺墓1 ピット12、溝1 性格不明遺構1 自然流路1		弥生土器、石器 土師質土器 陶磁器、瓦質土器 鉄器			
要約	<p>南日吉高堤遺跡は中世前期の集落跡である。掘立柱建物1棟と、素掘りの井戸1基が検出された。これらの遺構には12世紀後半の遺物が伴い、この時期に集落が営まれたと考えられる。遺物では土師質土器や須恵器、貿易陶磁器に加え瓦器が多く出土しており、楠葉型瓦器碗の可能性もあるものも2点含む。出土遺物から武家階級などの居住域の可能性が考えられる。</p> <p>上徳居屋敷遺跡からは弥生時代終末から古墳時代初頭と中近世の計2面の遺構面が検出された。弥生～古墳の遺構は自然流路が1条あり、外来系の土器も確認された。中近世の主な遺構は石組み井戸1基、桶棺墓1基、性格不明遺構1基が検出された。井戸の埋土からは16世紀代の亀山焼甕が出土しており、その頃に廃絶したと考えられる。桶棺墓と性格不明遺構からは18世紀から19世紀前半にかけての土器や陶磁器が出土した。中世と近世の遺構は同一遺構面で検出され、掘り込みも浅いことから後世に大きな削平を受けたと考えられる。</p>							